

伊勢湾貧酸素情報（第7報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層で5月から観測されていましたが貧酸素水塊は、湾奥部と湾中央部の一部のみでの形成となり、貧酸素水塊はまもなく消滅するものと思われます。

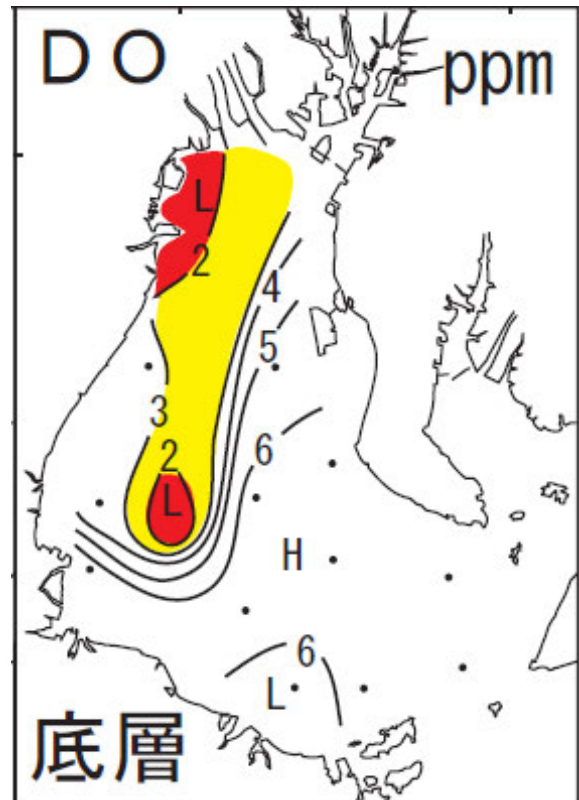
1 1月4日の調査結果

11月4日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で18.7～20.4℃、10mで19.1～21.2℃、底層で19.4～21.4℃の範囲にあり、表層、10m、底層とも平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素量）は表層で5.8～7.8ppm、10mで3.3～7.2ppm、底層で1.4～6.7ppmの範囲にあり、表層と底層は平年よりやや低め、10mでは平年並となっていました。

5月から観測されていましたが貧酸素水塊は、湾奥部と湾中央部の一部のみでの形成となり、伊勢湾の貧酸素状態は解消に向かっています。

表層と底層の水温差等が小さく、海水が混合しやすい状態のため、貧酸素水塊はまもなく消滅するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図